



茶の香だより

第31号

令和6年3月1日発行
発行元：武蔵村山市立第五中学校
学校運営協議会
編集：学習部

地域と共に歩む第五中学校

校長 榎戸 千代子

学校運営協議会委員の皆様には、地域の代表として本校のコミュニティ・スクールに関わっていただき、学校だけではできない様々な教育活動を支えていただいております。

学習部では3年生進路模擬面接で委員の皆様にも面接官をお願いし、進路のサポートをしていただきました。生活部では、防犯パトロールや校庭の芝刈りを実施しました。また、3月下旬には入学、進級を迎えるにあたり、委員の皆様と教職員で、校内のペンキ塗りを予定しています。地域連携部では、地域人材や職場体験場所確保等のサポートをお願いしています。今年度も五中フェスティバルは、2、3年生を対象に講師の皆様にも御指導いただき、貴重な体験ができました。また、2年生は「職場体験」、1年生は「プロから学ぶ会」を実施しました。快くお引き受けいただいた講師の皆様、ありがとうございました。これらの活動は、委員の皆様だけでなく、PTAや地域の皆様にも御協力をいただきました。改めて学校運営協議会委員の皆様への御尽力と保護者、地域の皆様への御理解、御協力に感謝申し上げます。来年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校運営協議会「茶の香だより」に寄せて

副校長 二階堂 裕文

第五中学校に赴任し2年が経とうとしています。1年目の昨年度よりは五中の様子もわかり、動けるようになったのではと思っています。様々な活動を通して感じることは、五中は本当に地域のみなさまに支えられているということです。学校行事だけでなく、校庭の芝刈りや防犯パトロール、3年生の面接練習会など、多岐に渡り学校運営協議会の方々に御協力をいただきました。ありがとうございました。これからも生徒たちの笑顔と健全育成のために、御協力をお願いいたします。

『2年間ありがとうございました』 学校運営協議会会長 宮崎 保

早いもので、会長に赴任してから任期満了の2年が過ぎようとしております。

さて、今年度は、今までできなかった職場体験とみんなの音楽会が行うことができ、コロナ禍前の行事がすべて開催できたことを大変うれしく思います。

また、会長という重責を担ってからの2年間、無事務められたのも、皆様の御理解、御協力があったからこそです。誠にありがとうございました。4月からは、新体制になりますが、新会長のもと、今まで以上の御支援をお願いいたします。

『一年を振り返って』 学校運営協議会副会長 堀内一弘

暖かく春の陽気となってまいりました。今年度の学校運営協議会の活動も残りわずかとなりました。

振り返ってみると、今年度はコロナ以降では初めて全ての行事が以前のように出来たのではないかと思います。五中の行事ですと、職場体験とみんなの音楽会が昨年まで出来ていませんでしたが、今年は両方とも復活しました。今まで当たり前だったことが、当たり前でなくなるのは本当に簡単な事ですが、当たり前に戻すのは本当に難しい事なのだ改めて実感させられた気がします。当たり前を引き続き、当たり前にするために、これからも学校運営協議会の活動を通して微力ですが携わっていきたいと思います。

次年度も保護者の皆さま、教職員の皆さまのご協力をお願いいたします。



●【プロから学ぶ会】の講師の方にお話を伺いました●

『働くは喜びに繋がる』

市内生花店経営：峰岸 喬さん

“働く上で大切なことは何ですか？”

生徒さんからの質問です。講義依頼をいただき、改めて自分を振り返りお話させてもらうのは「喜び」に繋げるという事。

お客様、地域、自分、家族の喜びに繋げる事が私の働くやりがいであり大切にしている気持ちです。この会は地域の喜びに位置付け、地元で育った私が地域の子供達の役に立てる喜び。お話しした内容がほんの少し将来の働く成分になっていたら幸いです。

『プロから学ぶ会を終えて。』

医療職看護師：水野 光子さん

今回、講師としては、3回目となります。看護師として中学生に何を伝えようか。毎回悩み、考え、自分自身も大変勉強になります。一生懸命にメモを取っている生徒達をみると、少しゆっくり話しをすると、キラキラした眼差しを向けてくる生徒さんには、笑顔を返してなんとか、医療職に興味を持ってもらいたいと必死になっていました。

これからも医療職を自信を持って伝えられるように、精進していきたいと思います。（このような機会を与えていただき、ありがとうございました。）

『コロナ禍を乗り越えて』

生活部会長 加園 一茂

コロナ禍も落ち着き、今年度から生活部の活動もようやく平常を取り戻しつつあります。

五中校区防犯パトロールは二小・八小・十小・五中の各関係団体、各校先生方のご協力を頂き、予定通り隔月のペースで行うことができました。心より感謝申し上げます。来年度も引き続き地域の安全の為、無理のない範囲で活動していきたいと思います。

3月末には毎年恒例、五中校内廊下の壁（今年は3階）を綺麗に塗り替える予定です。そして来年度も5月からPTA・先生方と協力し校庭芝の管理を行っていきます。

来年度も引き続きご協力の程、宜しく願い申し上げます。

『今年度を振り返って』

地域連携部会長 堀上 みち子

今年度は地域連携部ではコロナ以前の状態に戻れたような気がします。五中フェスティバルでは、多くの講師の方に色々な事を学ばせて頂きました。また二年生の職場体験が再開できたのは嬉しい事でした。それを受けてプロから学ぶ会は一年生に受けてもらう事になりました。一年生にとってはまだ遠い話のようですが、ここから二年生への学びに繋がれば良いかと思えます。

このような様々な学びが出来るのも、多くの地域の講師になって下さる方々のおかげと感謝致します。

どうか来年度も宜しく願い致します。

●進路面接練習の面接官のご感想をいただきました●

【第一歩として】

面接官：学習部 玉井 博子さん

今年も12月1日・4日～8日の6日間、3年生を対象に進路面接練習が行われました。面接官として参加させていただきました。当日渡される面接表に目を通し、緊張のなか生徒を待ちます。面接練習を通して生徒の人となりを知っていきます。一期一会に感謝しつつ、生徒達の思い描く将来への第一歩として少しでもお役に立てたのなら幸いです。

◆編集後記◆振り返れば茶の香だよりも発行31号となりました。8号から携わり、年月の積み重ねを感じます。【武蔵村山市 茶の香だより】と検索しますと1号よりご覧いただけます。今年度の感謝の想いと、次年度への決意を込めて、ご挨拶と変えさせていただきます。 学習部会長 高橋 圭子

●武蔵村山の昔話●

文責：学習部 安部 朋子

空気がピンと張って寒い今頃には武蔵村山市第五中学校の校舎からも日本一の山「富士山」が小さくながらよく見えます。

昔から富士山への憧れの気持ちは色々な形であった様で武蔵村山にもそんな富士山を模して人口的に作られた場所がありました。それは首都東京市の水道拡張事業として建設された山口・村山貯水池にありました施設を見渡せる展望台として、昭和8年に築かれた狭山富士です。頂上にはコンクリート製の展望台も設けられていたそうです。既にコンクリートは崩れ、ただの土山になったそうです。「どろっぶじ」と呼んで楽しい遊び場だった事を懐かしく思い出す方もご家族にいらっしゃると思います。

【参考文献】 多摩のあゆみ No.166、絵葉書から見る村山・山口貯水池周辺の観光地化より